

## 牛伝染性鼻気管炎（IBR）の発生について

県内の繁殖農家1戸でIBRの発生がありましたので、お知らせします。

### 発 生 状 況

発生場所 : 那須町

病性決定日 : 2019年9月2日(月)

農場の概要 : 黒毛和種 繁殖農家

発生頭数 : 6頭

発生概要 : 8月30日に管理獣医師から発熱、鼻汁漏出、目やになどの呼吸器症状について病性鑑定依頼があり、同日、管轄家保職員が農場に立入り、病性鑑定を実施した。

目やに、流涙を呈する牛7頭中3頭に40.0℃以上の発熱を認めたため、これら7頭の血液及び鼻腔拭い液を採取し、ウイルス検査及び細菌検査等を実施した。

その結果、9月2日に7頭中6頭からIBRウイルスが分離されたため、本症と診断した。

### 衛 生 対 策

- ① IBRの予防には、ワクチン接種が有効です。ワクチン未接種牛については、ワクチン接種を行いましょう。
- ② 導入牛については、導入元の衛生状態、ワクチン接種歴を確認しましょう。
- ③ 伝染性疾病の侵入防止、まん延防止のため、畜舎消毒、衣服・長靴の交換・消毒等の衛生対策を徹底しましょう。
- ④ 飼養牛に異常が認められた場合には、速やかに家畜保健衛生所に連絡してください。

#### 【牛伝染性鼻気管炎（IBR）】

牛ヘルペスウイルス1型の感染による牛の呼吸器病（届出伝染病）で、発熱、呼吸速迫、発咳、水様性鼻汁、泡沫性流涎、流涙、結膜炎等の感冒症状を示し、時に生殖器の炎症や流産を起こします。一般に死亡率は1~3%で10日から2週間の経過で回復しますが、細菌との混合感染により肺炎や気管支炎を併発すると重篤化し予後不良となります。

県南家畜保健衛生所

電話 0282-27-3611 (夜間・休日090-7205-1402) FAX 0282-27-4144